

令和3年大磯町議会

6月定例会一般質問（6月8日・9日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1</p> <p>11番 吉川 重雄議員 (80分) 9:05~10:25</p>	<p>1. 町民置き去りの行政運営を問う</p> <p>以下に掲げる4点について、町長の政治姿勢を問う。</p> <p>(1) 大磯町地域包括支援センターの全職員が退職した等の問題について、町としての対応に問題はないのか。</p> <p>(2) 多額の税金を投入してスタートした大磯港賑わい交流施設「オオイソ コネクト」について、当初の取り決めのおり、運営されているのか。</p> <p>(3) 3年前に生沢区長から提出された生沢東の池前のバス停についての町長への要望書の取り扱い対応に不備はなかったか。</p> <p>(4) 任期付短時間勤務職員の採用は、どのような基準等で行われているのか。一人当たりの給与額はいくらか。採用された職員は、公務員としての職責が全う出来ているのか。</p>	<p>町長</p>
<p>2</p> <p>10番 渡辺 順子議員 (80分) 10:40~12:00</p>	<p>1. コロナワクチン接種に係る課題について問う</p> <p>去る5月8日（土）、5月23日から始まるコロナワクチン集団接種の会場となる国府小学校体育館においてコロナワクチン接種の疑似訓練が行われた。中郡医師会の先生方をはじめ、看護師、薬剤師、医療スタッフなどの方々が町民福祉部職員と集団接種マニュアルに基づき接種の流れや手続き、役割分担などの課題について熱心に話し合われていた。しかしその前日の7日、菅首相は「高齢者接種を7月末までに終わらせる。」と宣言、24日に大阪と東京に「自衛隊大規模接種センター」をオープンさせ、自治体の取り組みと合わせて全国で1日100万回の接種を目指す考えを示した。さらに全国1,741市区町村のうち現時点で約1,000の自治体が7月末までに高齢者接種を終了できる見通しも示し、国が後押しすれば目標は達成可能であると力説した。報道によれば総務省はその日のうちに全国自治体に「7月末目標達成」を呼びかけるメールを送信したとのことであった。すでに全国各地で混乱が起きているが大磯町の状況はいかがであるか。</p> <p>(1) 現在の予約状況と全体スケジュールはどのような影響を受けるのか。</p> <p>(2) 接種枠（集団接種と個別接種）における課題と対策は。</p> <p>(3) 接種の優先順位はクリアされているのか。</p> <p>(4) 接種時に起こる課題の整理をどのように検討しているか。</p> <p>(5) ワクチンの安全性はどうか。</p> <p>2. 脱炭素社会の実現に向けて問う</p> <p>(1) 脱炭素社会の実現には再生可能エネルギーの利用が重要な要素である一方で、固定買取制度を利用した太陽光パネルの設置のために大規模な環境破壊が進んでいる現状もある。石神台1丁目の斜面地にお</p>	<p>町長</p>

	<p>ける太陽光パネルの設置はかねてよりその安全性が問われ事業が停止していたが、この度新たな事業者によって投資事業が再開されようとしている。</p> <p>「大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例」第7条（エネルギー事業者の役割）では、事業者が事業を行う際に配慮すべき事項が規定されているが、努力義務となっている。</p> <p>また、大磯町再生可能エネルギー利用設備等に関するガイドラインはあるものの強制力はない。条例第7条における事業者の役割について実効性が伴う文言にすべきではないか。同時に条例全体の見直しが求められる時期が来ていると考えるがいかがか。</p> <p>(2) 公共施設に設置している自動販売機のペットボトル廃止は町民からも評価されているが、これからのプラスチック利用に関して町はどのような取り組みを考えているか。</p>	
<p>3 3番 竹内恵美子議員 (55分) 13:00~13:55</p>	<p>1. 防災・減災について町の対応について</p> <p>(1) 災害時の情報伝達の現状や課題は</p> <p>(2) 避難所の運営者や運営方法は</p> <p>(3) 避難所となる小学校、中学校の各体育館の施設設備は</p> <p>(4) 各家庭での減災対策はハード面・ソフト面での対策は</p> <p>2. コロナ禍における児童・生徒の様々な影響について</p> <p>(1) 総合教育会議での対応は</p> <p>(2) 子どもたちの心のケア等の相談体制や支援体制は</p>	<p>町長</p> <p>町長 教育長</p>
<p>4 15番 柴崎 茂議員 (80分) 14:15~15:35</p>	<p>1. 5月9日付神奈川新聞の大磯町社会福祉協議会に関する記事は真実か、町の認識を問う。</p> <p>2. 新庁舎建設や駅前改修が真実必要か、町長の見解を問う。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>
<p>5 9番 二宮加寿子議員 (60分) 15:55~16:55</p>	<p>1. 町の子ども・子育て支援策について</p> <p>子どもたちが良い人生を送るために子育て支援は次世代への投資と考えているが、どうか。</p> <p>(1) 町の子育て支援政策について</p> <p>① 子育て支援策による出生率の影響は。</p> <p>② 保育所のニーズが高まっているが、対応は。</p> <p>③ 有効な少子化対策と待機児童解消は。</p> <p>(2) 大磯町立大磯幼稚園の民営化計画について問う。</p> <p>① 今後の移行のスケジュールは。</p> <p>② 保護者の不安をどう聞き入れ進めていくのか。</p> <p>③ 認定こども園化していくうちで、保育の質を管理監督していく中で町の考えは。</p> <p>④ 町ではすでに民営化している大磯保育園、国府幼稚園では町民からの相談に対し、どのように解決してきたか。</p>	<p>町長 教育長</p>

	<p>のか。</p> <p>(2) 国や県の状況と比較して大磯町の小・中学校の状況はどうなっているか。また、学校や教育委員会ではどのような対応をしているか。</p> <p>(3) 横溝千鶴子記念教育研究所内に設置された教育支援室「つばさ」で学校に行きづらい児童・生徒に対応をしていると聞いているが、通室児童・生徒数や活動の内容は。</p> <p>(4) 4月から児童・生徒一人一人に i P a d が配備された。希望する子には教室と実際にいる場所（自宅、つばさ、他の教室など）をオンラインでつなぐなどの支援もできるのではないか。</p> <p>3. 中学校給食と教育施設等長寿命化計画について</p> <p>スケジュールを白紙とした中学校給食について、町は大磯町教育施設等長寿命化計画の中で考えていくという方向性を打ち出していた。しかし、3月に策定された同計画（学校教育施設）では「自校方式による中学校給食の再開に向け、取り組みを行います。」「中学校給食の再開までの間、昼食支援を実施します。」という記述があるのみで、具体的にどのように取り組んでいくのかは明らかにされていない。以下の点について伺いたい。</p> <p>(1) この長寿命化計画による改修等の具体的着手時期は令和5年度とあるが、ここに中学校給食施設建設は含まれるのか。</p> <p>(2) 同計画の目的は、改修および改築費用が特定の年度に集中しないように平準化するものであるが、その中に中学校給食施設建設費用は算定されているか。</p> <p>(3) これまで、中学校給食の実施については懇話会や検討会において検討が進められた経緯があるが、今後は具体的にどのように進めるのか。</p> <p>(4) 中学校給食再開までの間、昼食支援を実施するとあるが、給食の代わりというからには食数および保護者負担金額については十分検討し、町としてできる限りの支援をするべきではないか。</p>	町長 教育長
<p>9 12番 飯田 修司議員 (80分) 10:40~12:00</p>	<p>1. 大磯町における公共建設物に対して大磯町は発注業務及び完了後の管理等適切に業務を行っているか</p> <p>(1) 旧吉田茂邸について</p> <p>① 「設計図書」、「概要書」、「工事写真」や竣工時の「竣工図面」、「竣工写真」が不在である。大磯町は発注元である「神奈川県住宅営繕事務所」に「図面・写真」一式を要求しないのか。</p> <p>② 2階和室で雨漏りがあったと考える。工事内容の行政情報公開請求に対して、雨漏りが無いとの回答でよいのか。</p> <p>(2) オオイソコネクトについて</p> <p>① 漁協に1億1千万円請求する内訳は。</p> <p>② 平成30年2月、漁協より提示された図面と大きな乖離があるが、承諾を得たのか。</p> <p>③ 一昨年の12月定例会の私の質問「2階のデッキの開放について」に回答いただいたことが実行されていないが、いいのか。</p>	町長 教育長

	<p>2. 大磯町社会福祉協議会は機能しているのか</p> <p>(1) 地域包括支援センターに対して、何名の専門職を置くように契約しているのか。令和3年6月1日時点で何名が在籍しているのか。</p> <p>(2) 福祉センターさざれ石の指定管理をお願いしているが、土・日・祝日に使用できないのはおかしいと思わないか。その他の指定管理施設で土・日休業しているところがあるのか。</p>	町 長
<p>10</p> <p>8 番 奥津 勝子議員 (40 分) 13 : 00～13 : 40</p>	<p>1. 大磯港周辺について</p> <p>「大磯港賑わい交流施設」愛称オオイソコネクトが4月にオープンし、それ以前に県の管理事務所もリニューアルされた。ふえてきた釣り人も含め、大磯港周辺を動く人達も多くなって来たと思う。そこで伺う。</p> <p>(1) 駅から港までの道の下町エリアも「大磯港賑わい創出」として考えられていたが、現状はどうか。</p> <p>(2) 管理事務所内の展示室への案内板の設置が必要と思うが。</p> <p>(3) シェアサイクリングへの推進は。</p> <p>(4) 「大磯らしい潤いづくり計画」との整合性は。</p> <p>(5) オオイソコネクト屋上のキュービクルの壁の活用は。</p>	町 長
<p>11</p> <p>2 番 石川 則男議員 (80 分) 14 : 00～15 : 20</p>	<p>1. 津波災害について</p> <p>海に面した大磯町にとって津波災害対策は町民の生命・財産を守る上で重要な施策の一つであると考えている。ついては</p> <p>(1) 神奈川県が行っている「津波災害警戒区域指定」の内容はどのようなものか。</p> <p>(2) 「津波災害警戒区域指定」されると新たな情報が得られるとか、町民や大磯町にとってメリットはあるのか。</p> <p>(3) 本年1月22日号のタウンニュースでは藤沢市・大磯町・二宮町が「津波災害警戒区域」に指定される見込みとあったが大磯町が指定されなかった理由は何か。</p> <p>(4) 今後「津波災害警戒区域指定」に向けてどのようなスケジュールを考えているのか。</p> <p>(5) 津波災害時もそうであるが危険を知らせる方法として防災無線の言葉は聞き取りにくい事から、サイレンとして活用してはという町民からの提案を4月1日危機管理課に検討依頼したが検討結果を聞きたい。</p> <p>2. 黒岩公民館について</p> <p>平成5年黒岩公民館の土地を大磯町に寄付して28年、木造建築の耐用年数を10年近く超えているにも拘わらず建て替えが実行されていない理由を問う。</p> <p>(1) 20年間黒岩公民館を行政財産としていた物をこの令和2年度末の覚書更新時普通財産と変更した理由は何か。</p> <p>(2) 3月議会の町長答弁で「この地区の公民館についてのお話は出る時もあり、私が答えております。そしてその場で終わっております。行きました後又そういう話の繰り返しもあります。」との答弁があったが</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p>

	<p>町長はそれをどう理解しているか。</p> <p>(3) 黒岩公民館を建替えなかった理由を本年3月議会において、「耐震診断調査未実施で、地区から耐震性に問題が生じている等の明確な資料は提供されていない。」事を理由に上げたが、いつから耐震診断調査を地区が行い耐震性に問題が生じている等の明確な資料を提供することが建替えの条件になったのか。</p> <p>3. 教育関係施設等長寿命化計画について</p> <p>(1) 本年3月議会教育長答弁にて「小学校、中学校のみならず、幼稚園、図書館、郷土資料館等を含む全ての教育関連施設の劣化状況を把握し、長寿命化に向けた個別施設計画を策定する。」とのことであったが学校施設以外の教育関連施設の長寿命化計画はいつできるのか。</p> <p>(2) 大磯町のホームページに上がった「大磯町教育施設等長寿命化計画（学校教育施設）のP39 今後20年かけて、全ての学校施設に対し大規模修繕や長寿命化改修、必要な施設では改築を実施することとし、優先順位ランクを踏まえて平準化を計画します。」とあるが、いつ具体的施設の計画が明らかになるのか。</p> <p>(3) 「大磯町教育施設等長寿命化計画（学校教育施設）のP28・P29において一般施設と長寿命化施設と区分した理由は何か。</p> <p>(4) 一般施設と区分した大磯中学校1号館は既に60年を超えているがいつどう対応するのか。</p> <p>4. 現在の庁舎について</p> <p>(1) 現在の庁舎は昭和46年に建てられたとの事だが、地震の多い日本において耐震性を考えていないという事は考えられない。その時の庁舎の耐震性の目標はいくらであったのか。また、建設後の耐震性の確認では目標を達成していたのか。</p> <p>(2) 本年3月議会における私の質問に対する町長答弁「当時（平成28年）、構造計算を行った株式会社松田平田設計の設計士からは、全体として数値以上の耐震性が保たれているという事で、倒壊は免れるのではないかということから一定の安全性は確保されているものと現在は考えております」とのことであった。一定の安全性が確保されているにもかかわらず、かつ耐用年数が未だ10年あるにもかかわらず建て替えを急ぐ理由は何か。</p> <p>5. 町民のささやかな要望にどう応えるか</p> <p>平成目安箱に税金のクレジットカード払いの要望が上がっていた。クレジットカード払いが出来れば分割も出来、税金の支払い猶予を受けるより気持ちも楽との前向きな要望であり、平塚市や湯河原町も導入している事であった。</p> <p>(1) 町も対応すべきと認識しているとの回答であったが、いつ頃導入出来る見込みか。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
--	---	---------------------------------------

<p>12</p> <p>7番 鈴木たまよ議員 (60分) 15:40~16:40</p>	<p>1. 地産地消の向上について</p> <p>地産地消の向上は、地域経済の循環を促進させることのほかに、私たちの健康維持や地球温暖化の原因となっているCO2やプラスチックごみの問題とも直結している。</p> <p>大磯という町の規模だからこそ、国や県からの方針や予算づけを待たずに、アイデア次第で取り組めることも多々あると思われる。第五次総合計画・前期基本計画の地域経済の循環促進の中でも「地産地消の促進」が掲げられているので、町としても地産地消は優先度の高い施策の一つだと理解している。生きていく上で「食」は不可欠であり、また、より良い「地産地消」を目指していただきたいゆえ、以下について町の考えと取り組みを問う。</p> <p>(1) 新規就農者の状況 (2) 食の安全性について (3) 学校給食における地場産の食材の状況 (4) フードロスをなくすための取り組み</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>13</p> <p>1番 鈴木京子議員 (80分) 17:00~18:20</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>政府の対策が後手に回るため収束は未だ見えず、閉塞感が募る日々であるが、以下の点を問う。</p> <p>(1) 町として政府に望むことは何か。また、五輪開催とホストタウンについての見解を問う。 (2) 今夏の海水浴場と観光、学校プールの開設は。子どもが水に親しむ環境は必要と考えるが。また、町の施設利用について、休止、再開時期等の共通ルールは作らないのか。各課任せで町民の受け止めに混乱や要望が寄せられているが。 (3) コロナ禍の中、地域包括支援センターの役割は重要である。現在起きている状況把握と町の対応を問う。 (4) 町の拡大PCR検査は活用されているか。県の医療、介護福祉施設等の検査との連携は図られているのか。</p> <p>2. 中学校給食の実施は長寿命化計画で無期延期か</p> <p>昨年度末に学校施設の長寿命化計画が策定された。この計画と給食施設整備との関係はないと考えるが、どうか。株式会社長大の調査報告を元に自校方式としたが、親子・兄弟方式を改めて検討したらどうか。町長の見解と教育委員会の認識を問う。</p> <p>3. 町立大磯幼稚園は民営化しかないのか</p> <p>保育園の待機児童対策は喫緊の課題だが、幼稚園の一面、駅前用地の残地等の活用による保育園の設置は可能ではないか。そもそも公共施設等第一期個別施設計画では町立として存続となっている上、長寿命化計画でも対象とされている。見解を問う。</p> <p>4. 職員数と配置は適切か</p> <p>年度当初は定員適正化計画に対し7名減であった。採用数の状況、見通</p>	<p>町長</p> <p>町長 教育長</p> <p>町長 教育長</p> <p>町長</p>

	しについて問う。また、新規事業による配置は適切でバランスはとれていると考えているか。今後の事業展開による配置の変化はあるか。	
--	--	--

13名28問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。